

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 18 日

Table with columns for 事務事業名, 健康推進員会事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 0102 健康づくりの推進, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細, 一般会計, 保健事業, 事業期間, 単年度繰返し (平成18年度~), 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about regional residents and health promotion activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段 (担当者の活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), and ④活動指標 (活動量を表す指標). Includes data for health promotion activities and target numbers.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 28, 29, and 30 fiscal years. Includes sub-tables for 事業費 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 人件費 (正規職員従事人数, etc.).

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 29 and 30 fiscal years. Includes rows for 01 報酬 and 11 需用費, with a total of 648 for 29 and 769 for 30.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 30, 31, and 32 fiscal years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists main activities like 市長マニフェスト and 合併建設計画事業.

事務事業名	健康推進員事業	事務事業No.	10201000326	所属課	健康推進課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
町村合併を機に各旧町村にあった地区組織を解散し、平成18年7月に新たに設置した。2年を任期とし市民を巻き込んでの健康づくりに取り組んでいる。運動グループの自主活動を発足し、地域に運動する場を根づかせ、多くの市民に運動の楽しさを味わってもらっている。また、がん検診の普及啓発を目的に、乳幼児健診時や市民祭などで若い世代に声かけし、子宮・乳・大腸がん等の新規がん検診受診者を増やしている。活動の活性化を図るため、区長推薦のほか一般公募者を平成24年より導入した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
区長推薦により委嘱をしているが、行政区によっては、仕事や家庭の事情で担い手がないのが現状。新任で65歳、再任で70歳までの年齢制限があり、この年齢ではまだ勤めていてなかなか引き受けてもらえないと区長からの意見がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	健康推進員としての意識や活動に差が生じているので、その差をどううめていこうかが課題である。また、健康推進員が地域でも活動できるような活動をしていきたい。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市第2次総合計画の施策「健康づくりの推進」と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	健康づくりは、市民一人一人が主体となり、自身や家族の健康に対する意識の向上と健康づくりの取り組みを行うことが大切であり、健康推進員は市民と行政のパイプ役として必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	仕事や家庭の事情や活動に対する意識に個人差があり、健康推進員活動の意欲に差がみられる。地区の代表者が中心となって会員の意識高揚を図り、充実したやりがいのある活動に発展させていくことで、さらなる成果向上が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	地域での健康づくりの担い手がいなくなり、市民のニーズや要望が行政につながりにくくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	保健事業のパイプ役として、健康づくりの中心となり活動する組織はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	報酬と食料費(お茶代)のみであり削減余地はない。事務局の人件費についても、会議の資料作成や運営支援に最低限の人数で対応しており削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	行政区ごとに区長から推薦を受けているので、市内ほぼ公平に選出されている。また、平成24年度以降の改正についても活動を希望している有志を広報誌で公募しているため、公平公正と言える。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	健康推進員として、若い世代へがん検診や運動の推奨を柱に据え活動した。なお、健康推進員の活動紹介を目的に「健康推進員だより」を発行したほか、「広報さくらがわ」に掲載し活動のPRに努めた。健康推進員の自発的な活動が期待されるところであるが、ごく一部の会員に限られている。																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
⇒																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
会員の健康づくりや活動への意欲に大きな差があり、活動の方向性や目標を共有することが難しい。健康推進員の選出方法や運営方法など見直しが必要である。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>